

2年 技術・家庭（家庭分野） シラバス

1 技術・家庭科（家庭分野）の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成します。

2 教科における重点目標等

日常生活の中から問題を発見して課題を設定し、解決に向けて既習事項をもとに話し合い活動を行う。また、さらに家庭や地域で実践できるようにします。

生活に必要な基礎・基本の知識及び技能を習得できるようにします。

3 学力を向上させる方法

(1) たくさん発表する機会を設け、自信をもって意見を言える雰囲気のある授業をつくり
ます。難しく考えず、普段の生活を振り返りながら学習に取り組みましょう。

(2) 理解を深めるために、実験や実習を取り入れた授業を行います。積極的に取り組みま
しょう。

(3) 生活に密着した題材・生活に役立つ題材をもとに、楽しく授業を進めます。いつでも、
どんなことでも質問してください。

4 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	家庭生活に関する基礎的・基本的な知識が身についているかを評価します。また、生活に関する技能（調理・裁縫など）がしっかりと身についているかを評価します。	レポート、ノート・学習プリント 作業・実習の様子、知識、作業・ 実習、技能の習熟状況、定期テス ト、完成作品、実技試験
思考・判断・表現	生活をより良くしようとするものの見方や考え方ができているか、問題解決にむけた思考の過程やアイデアを評価します。	作業や実習への取り組み、授業の 様子、作品・ノート等の提出物、 実習記録、計画・記録、定期テス ト
主体的に学習に取り組む態度	自らの生活を振り返りながら意見をまとめることや、家庭生活に関する知識・技能を習得しようと学習活動に取り組もうとしているかを評価します。	出席状況、授業に取り組む態度、 挙手・発言等、ノート等の提出物

5 家庭学習の仕方

技術・家庭科は、生活に密着した題材・生活に役立つ題材をもとに授業を進めます。自分の生活を振り返り、既習後は、生活の中で実践し習得しましょう。

学期	単元名	学習のポイント
1学期 2学期（～10月）	/	(技術分野)
2学期（11月～） 3学期	<p>C. 消費生活・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ★金銭の管理と購入 ★消費者の権利と責任 ★消費行動が環境や社会に及ぼす影響、自立した消費行動の工夫 <p>B. 衣食住の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ★食事の役割と中学生の栄養の特徴 ★中学生に必要な栄養を満たす食事 ★日常食の調理と地域の食文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売方法の特徴を知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択や購入ができるようにします。 ・自分達の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活ができるようにします。 ・生活の中で食事が果たす役割や、中学生に必要な栄養の特徴、健康によい食習慣について学習します。 ・栄養素の種類と働きを知り、中学生の1日に必要な食品の種類と概量を知り、1日分の献立を考えられるようにします。 ・簡単な日常食の調理ができるようにします。 (肉・魚・野菜) ・食品や調理器具の安全な扱い方と調理技能を身につけます。

※A. 家族・家庭生活、B. 衣食住の生活、C. 消費生活・環境の3つの領域を3年間で学習します。